



平素は、JAとうとの事業運営に各別のご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

国際情勢では、ロシア・ウクライナ戦争の終結が見えない中、新たにイスラエルとハマスの戦闘が始まるなど、混迷を極める状況となっています。

このように国際情勢が不安定化する中で、国内においては、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、経済活動並びにインバウンド需要が活発になりつつも、円安等による急激な物価高騰が家計や企業を圧迫している状況です。

また、国会では政治資金問題を巡り大きく揺れており、政治に対する信頼感が薄れている状況です。

JA経営を取り巻く環境においては、人口減少・少子高齢化・低金利環境の継続などの構造的な要因により経営収支は厳しい状況となっています。

このような情勢のなか、JAとうとは、第8期(令和4～6年度)中期計画により、組合員の皆さま方との対話を基軸として、農業者の所得増大、地域の活性化、経営基盤強化に取り組みました結果、概ね計画どおりの事業実績をご報告できますことは、ひとえに組合員ならびに地域の皆さま方の温かいご支援ご協力の賜であると重ねて厚くお礼申し上げます。

なお、金融機関の経営健全性を示す指標となります自己資本比率は令和6年3月31日現在20.84%と引き続き安心してご利用いただける経営内容となっております。

令和6年度は、中期計画の最終年度として各施策を着実に実践し自己改革を推し進めるとともに、JAとうとが地域に貢献し組合員ならびに地域の皆さま方から必要とされる協同組合であり続けるために、役職員一丸となり総合事業経営を維持・強化し将来を見据えた事業活動に取り組む所存でございます。

ここに「2024版 ディスクロージャー誌」を発行させていただきますので、ご一読いただきJAとうとへのご理解をさらに深めていただき、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さま方のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます。

令和6年7月

代表理事組合長

古川 敏之